

第6学年1組 道徳科学習指導案

主題名：互いを思いやる心

教材名「最後のおくりもの」B(7) 思いやり・親切

男子14名 女子13名 計27名

指導者 田村 純子 (T1)

保田 典子 (T2)

主題について

ねらいとする価値

「思いやり」とは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けてることである。

具体的には、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを想像したりすることを通して励ましや援助をすることである。時には、相手のことを考えて暖かく見守ることも親切な行為としての表れである。思いやり、親切という価値は、極めて基本的な道徳的価値であるとともに、人間の生き方に広く関連する価値である。

ここでは、親切や思いやりから起こす行動の尊さに着目させ、自らもそうした行動をしようとする態度を育てることをねらいとする。

児童の実態

- ① 児童は、5月に「親切・思いやり」の内容項目で、相手の立場に立って考え、誰に対しても思いやりをもつことを学習した。この際、自分にできる「思いやり」について考える経験をしている。
- ② 本学級の児童は、最高学年として下級生に優しくした方がよいとか、友達に親切にした方がよいという気持ちはもっている。しかし、そういう意識はあっても、自分の思いを優先してしまったり、無意識に面倒なことを避けるために相手の気持ちを考えない言動をしたりすることが多く見られる。
- ③ 道徳科の時間に、感じたり自分の考えを広げたりすることはできるが、実際の生活にはなかなか繋がっていない。道徳科の時間に考えたことを自分の生活で実践できる児童を増やしていきたい。

教材について

本教材は、俳優を目指し貧しい青年が、俳優養成所の資金を黙って援助してくれていたおじいさんの思いやりの深さに触れ、本当の思いやりとは何か考えさせられる教材である。

考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入では、子ども達が現段階で考えている「思いやり」という問いを投げかけ、本時で考える価値を共有する。児童にこれまでの自分の生活経験を振り返らせ交流することを通して、ねらいとする価値への方向付けを行う。

展開前段では、ロベータの視点で心情の流れを捉えさせる。お金がなくて養成所に通えず、小さな包みの「おくりもの」が届かなくなって落ち込みショックを受け、誰かから分からないおくり物のお蔭で自分の夢が叶えられそうになっていた展開の中で、「おくりもの」の主であったジョルジュおじいさんへの行為をおさえることで、ジョルジュおじいさんの思いやりに対してロベータがどのような心情で応えるのかを考えさせたい。

終末では、めあてに立ち返り、自分の生活に振り返って考えさせることで、自らも本当の「思いやり」の行動をしようという道徳的実践力を育てていきたい。

○ 総合的な学習の時間や特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

児童は、これまでの生活経験の中で、相手の気持ちや考えを自分に置き換えて自らの行動をすることができるようになってくる時期である。しかし、その一方で、気の合う友達同士で仲間集団をつくる傾向も見られる。そこで、学年・学級開きを契機として、学級活動や日々の活動の中で、友達と互いを思いやり気持ちよく過していくことの大切さに気付き、相手のことを考えて行動をしていこうとする心情を育てていきたい。

道徳科の学習で道徳的態度を養ったり、道徳的心情を育てたりするとともに、たてわり班活動などの体験活動や、総合的な学習の時間との関連を図り、学校内だけでなく、家庭や地域などの色々な立場の人々に寄り添いながら、相手のためになることを考え、実行しようとする道徳的実践力を高めたい。

2 本時のねらいと授業の展開

本時の学習

(1) 本時のねらい

ロベータやおじいさんが互いの立場を考えて行動したことを考える活動を通して気付いた思いやりや優しさを、これからの自分に生かそうとする心情を育てる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □考え・議論する時間の工夫 *評価
導入	<p>1 「思いやり」とはどういうことか、これまでの経験や学習から考え、本時の学習テーマを捉える。</p> <p>○既習の「車いすでの経験から」の挿絵を見て、どのようなことを考えたか想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に親切にすることについて考えた。 ・相手の気持ちを考えて行動することが大切だと考えた。 ・自分でできる思いやりの行動について考えた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>お互いの「思いやり」とは何か考えよう。</p> </div>	<p>◇これまでの自分の生活経験や学習を振り返らせ、交流することで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。(T1：指名、T2：板書)</p>
展開前	<p>2 資料について考える。</p> <p>○ロベータの心の変化を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしても俳優になりたい。 ・これで、養成所に通える。ありがたい。 ・急にどうしたんだ。なんで送ってくれないんだ。あきらめないで。 <p>○おじいさんは、なぜ直接「おくりもの」を渡さなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張っているロベータに、夢を叶えてほしい。 ・ロベータの頑張る姿で、自分も頑張れる。 <p>●しばらくうつむいたロベータはどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待をかけてくれたのはジョルジュじいさんだけど、練習を休みたくない。 	<p>◇あらすじを確認しながら資料を読むことで、主人公の心情に寄り添い、二人人物像をしっかりと捉えさせる。(T1：範読、T2：挿絵等掲示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金がなくて養成所に通えなかった時。 ・小さな包みを見つけた時。 ・突然贈おくり物が届かなくなった時。 <p>◇「おくりもの」に込めたおじいさんの思いやりに気付かせる。(T1)</p> <p>◇直接渡さなかったおじいさんの思いやりも考えさせ、本当の「思いやり」とはどんなことなのか、考えさせる。(T1)</p> <p>□まず、自分の考えをノートに書かせてから、意見の相違点やより高い価値に気付かせるために、班で考えの交流を行わせる。</p> <p>◇看病にはお金も時間もかかることや、役者</p>

段	<ul style="list-style-type: none"> ・体を壊してまでぼくのために働いてくれた身寄りのないジョルジュじいさんを放ってはおけない。 ・頑張っていることを続けることが恩返しだ。 ・心配だ。 ・今度は自分がジョルジュじいさんのためにできることをしよう。 <p>○おじいさんからの最後の「おくり物」は何だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢をあきらめてほしくない。 ・お金では買えない、おじいさんの「親切」。 ・命を削ってでも援助するジョルジュじいさんの「思いやり」。 ・ジョルジュじいさんの、「見えない思いやり」。 ・相手を思いやることを教えてもらった。 	<p>の夢からも遠ざかることをおさえ、ゆさぶりをかけて、考えさせる。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看病するには、お金も時間もかかり、夢から少し遠ざかってしまうのに、なぜ自分の夢よりおじいさんの看病を優先させたのでしょうか。(分析的な発問) <p>◇児童の考えを共感的に聞き、多様な考えが出るようにする。(T1, T2)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□発問の工夫（共感的な発問）</p> <p>おじいさんの思いやりに触れ、ロベエヌがどんなことを考えたのかを考えることで、おじいさんとロベエヌが相手のことを考えた本当の「思いやり」に気付かせたい。</p> </div> <p>◇ノートに書く活動に1人で取り組ませた後、班での話し合いを設定し、自分の思いを交流させる。その後、学級全体で話し合い多様な考えに触れさせる。(T1, T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんは、なぜ「おくり物」は自分からだと伝えなかったのでしょうか。(分析的な発問) <p>*おじいさんの行動を通して本当の思いやりに気付いている。(ノート, 発言)</p>
展開後段	<p>3 「互いを思いやる」とはどんなことか、自分の生活を振り返り、自分がされた思いやりと、自分がこれからできそうな思いやりについて考える。</p>	<p>◇これまでの生活を振り返り、友だちが自分にしてくれた思いやりについて考え、さらには自分ができそうな思いやり（低学年や同級生等）も考えさせる。</p>
終末	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習から学んだことや考えたことを書きましょう。</p>	<p>◇ジョルジュじいさんやロベエヌの行動を通す手考えた「見えない思いやり」を、これからの生活で生かそうと考えることができるように、めあてに立ち返り、本当の「思いやり」について考えさせる。(T1)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>相手の立場になって考え、さらによりよく生きようと行動していこうとする心情を養う。</p> </div>

(4) 板書計画

7/3 最後のおくりもの

思いやり 困っている時に助ける
相談にのる

考 登場人物の行動から、本当の「思いやり」について考えよう。

ロベータ

- ・養成所に入りたい。
- ・お金がない。
- ・窓の外からメモ

- ・養成所に通い始める。
- ・練習に力が入る。
- ・誰かわからないけどありがとう。

- ・唇をかむ。
- ・どうしてお金が届かないんだ。

しばらくうつむく

- ・お金を置いてくれたのはジ
ョルジュじいさんだったんだ
- ・体をこわしてまでぼくのために
- ・身寄りがないなら、ぼくが。
- ・看病をすると、夢が遠のく。
- ・お金がかかってしまう。

最後の「おくりもの」とは

ジョルジュじいさんの「思いやり」
おじいさんの「見えない思いやり」
ロベータのことを考えた思いやり

振り返り

- 本当の「思いやり」とは、自分のことじゃなく、相手のことを考え
てする行動だと分かった。
- だまってよりそってあげたいと思う。
- 何も言わず、支えてあげられるようになりたい。
- 自分のことより、相手のことを先に考えられるようにしたい。

ジョルジュじいさん

- ・見守るよ。

- ・誰かが期待をかけてくれてる。
- ・しばらく会えないけどがんばれ。

- ・雪の中に倒れる。